



仙高の風

令和5年4月24日発行 第1号

とある3年生教室に掲げられてあるクラス目標



令和5年度第78回生入学式挙行

4月7日午後、280名の新入生がここ国見ヶ丘の学び舎の門をくぐりました。緊張した面持ちで体育館に入場し、新入生は各クラス担任の呼名のもと、ひとりひとり期待に満ちた颯爽とした返事が体育館中にこだましました。以下、岩井誠校長の式辞の一部を掲載します。



▼桜の開花には「600度の法則」という説があり、聞いたことのある人も多いと思います。二月一日から毎日の最高気温を足し算していったら、600度に達する頃に桜が咲くというものです。皆さんも中学校における学びを毎日地道に積み重ねてきた結果、ようやく「サクサク」日を迎えて今ここに集っていますし、高校に入学した充実感が心が満たされていると思います。▼そんな皆さんに、高校生活のスタートに当たり大事なことを二つ伝えたいと思います。▼一つ目は、ここからが本格的な学びの始まりであるということです。これまで高校合格を手にするために学習に取り組んできたという人も多いと思います。そのことは間違っていないし、目標を達成し一時的に満足感に浸るのはむしろ自然なことです。ただ、次なる皆さんの大きな目標は何か。それは社会に出る三年後に向けて、「自分は何がしたいか」あるいは「何ができるか」という大きな問いに向き合うこと、そして、そのためには「自分の力をどう高めていくか」、

「何をどのように学んでいくか」を実践していくことです。(中略)仙台高校は「普通高校」です。皆さんは工業高校や商業高校、農業高校や水産高校といった専門高校ではなく、普通高校を選びました。ではこの「普通」って何でしょう？これは一つの解釈ですが「教科の科目を偏りなく幅広く学べる」という意味だと考えます。▼本校は今年で創立83年目を迎えますが、1940年(昭和15年)の開校当時から「教養教育」の大切さを謳い、その姿勢をこれまで貫いてきました。わかりやすく言えば、大学受験のためという狭い視野での学びだけではなく、教科などを横断的に学び、一つの問題に対して異なる視点を持てるような教育を行うということです。このことが答えのない社会で生きる上で何より大切であると考えています。そのためにたくさんの学習科目を用意しています。残念ながらそのすべてを学ぶわけにはいかないのですが、その中から自分で選ぶことができます。決めるのは皆さんです。(中略)▼次に二つ目です。皆さんは、高校入学という大きな節目に当たり、喜びの反面、同時に不安も抱え、最初の一步をどう踏み出そうか悩んでいる人もいることでしょう。一つの考え方ですが「若さ」は言い換えれば「大胆さ」でもあります。若いということは未熟でありながら「まずはやってみよう」という勢いがあります。当然リスクもそれなりに伴いますし、当然ですが失敗もするでしょう。その時は「転んでもただは起きぬ」の精神でよりたくましく成長すれば良いだけです。この頃若い人たちの中で、変に先回りして失敗を避けようとする傾向が強くなってきたと言われます。仮に最初から上手くいったらそれは偶然です。向上心を持ってひたむきに努力した結果が失敗につながってしまったとしても、素直に反省して次につなげる糧とすれば良いのです。皆さんが本来持っている旺盛な行動力が、不安や失敗を恐れる気持ちによって削がれてしまうのが最も良くないことではないかと考えています。▼仙台高校には何度でもチャレンジできる舞台が用意されていますし、そんな皆さんを応援する雰囲気があります。安心してトライしてみてください。まずは自分なりに工夫しながら考えて、あるいは友だちにも相談しながら、必要だと思うことをやってみてください。▼私たちもそんな皆さんを見守りつつ、また皆さんの努力や成果を励みとしながら日々取り組んでいきます。ともに頑張りましょう。▼結びになりますが、この三年間を日数にすると1095日です。最初にお話した桜の開花に例えれば「1095日の法則」です。皆さんの高校生活が豊かで実り多く、なおかつ刺激に満ちたものであること、そして、1095日後に大きく花を咲かせることを祈念して式辞といたします。



父母教師会会長と泉恭子様からお祝いのメッセージをいただきました。



新入生を代表して堂々と宣誓を述べる齋藤慶次くん(将監中)



吹奏楽部による校歌披露



4月10(月)から1年生は**オリエンテーション**を実施しました。写真左上は先輩からの部活動勧誘、右上は本校スクールカウンセラーによるグループエンカウンターの様子、左下はクラス担任による校舎内の施設見学、右下は軟式野球部の部活動紹介の写真です。一日もはやく学校生活に慣れ、充実した高校生活を謳歌してほしいと思います。



4月7日(金), **新任式・始業式**が行われました。新任式では岩井校長から一人一人のご紹介があり、新任者を代表して大塚修哉教頭よりご挨拶をいただきました。以下、新任の先生方です(敬称略)。

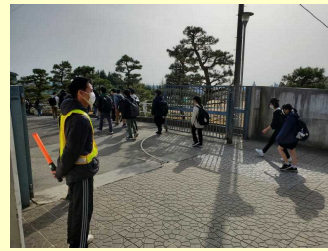
▼大塚修哉(市教委より), 重田達(仙台青陵中等教育学校より), 松田美緒(板橋区立赤塚第一中より), 鈴木康(泉高より), 苅田望(仙台工業高より), 若松実(聖ドミニコ学院中高より), 梅村聖一(仙台商業高より), 角田淳(仙台向山高より), 松澤千晶(初任), 後藤多喜子(広瀬中より), 鈴木敬子(仙台工業高より), 次藤寛泰(宮教大付属中より), 門脇洋(まちづくり政策局より), 針生則夫(建設局より), 矢部文雄(泉図書館より)



令和5年3月30日(木), **離任式**が行われました。以下、退職・転出された先生方です(敬称略)。

▼中村淳(市教委へ), 板橋俊文(仙台商業高へ), 大嶋智彦(教育センターへ), 佐藤綾子(仙台青陵中等教育学校へ), 竹森佑太(仙台工業高へ), 倉前拓季(仙台工業高へ), 土井崇寛(仙台向山高へ), 山内由樹(仙台青陵中等教育学校へ), 鈴木ちか子(退職), 丸山信朗(離任), 岡崎恵理子(若林区保健福祉センターへ), 及川豊彦(仙台商業高へ), 門傳和江(退職), 菅原千広(聖ドミニコ学院中高へ), 大竹愛子(仙台工業高・仙台大志高へ), 小野綾香(宮城学院中高へ), 郡司宏貴(離任), 中村将彰(都立秋留台高へ), 小崎茂(仙台大志高へ), 志貴一元(仙台商業高へ)

令和5年3月30日(木), **離任式**が行われました。以下、退職・転出された先生方です(敬称略)。



年11回, 本校では**マナーアップ運動**を展開しています。交通安全の意識高揚と地域から愛される学校を目指し, 交通安全委員会を中心に, 挨拶励行に努めています。



2017年後期生徒大会において「命を大切にみんなで守り, はぐくむ」ために, 各クラスに観葉植物(ユッカ)を一つ設置し, 鉢植えを後輩たちのクラスへ引き継ぎ, リレーしていくことが定められました。写真は対面式での**引継式**のシーンです。



4月11日(火)**3学年研究レポートガイダンス**が行われました。総合的な探究の時間を本校のキャリアプランであるフェニックスプランと連動して, SDGsの目標とからめながら, 年次毎に体系的に取り組んでいます。



4月13日(木)**防災訓練**が実施されました。年度当初の避難経路確認と防災意識の生活習慣化を目的に, 震度7の地震発生, 調理実習室より出火という想定で行われました。全生徒校庭に避難し, 訓練の最後に大塚教頭より講評をいただきました。

〒 981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1 担当:主幹教諭 阿部頼人
Tel 022-271-4471 URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。